

## 万灯祭播磨灘ヨットレース2023大会 (MHレガッタ) 帆走指示書 (S I)

共同主催：公益財団法人日本セーリング連盟加盟団体外洋内海、NPO高砂海文化 21C  
協力：的形セーリングクラブ、本荘ヨットクラブ、木場ヨットクラブ、  
運営：万灯祭播磨灘ヨットレース 2023 大会実行委員会 (MHレガッタ)  
後援：高砂市 たかさご万灯祭実行委員会 高砂商工会議所 高砂市観光交流ビューロー  
開催地：兵庫県高砂市高砂町今津町 (材木町) (特設会場)

### 1、適用規則

- 1.1 本レースは「セーリング競技規則 2021-2024 (RRS)」に定義された規則を適用する。
- 1.2 外洋特別規定 (OSR) 2022-2023 附則 B インショアレース用特別規定並びに OSR 国内規定を適用する。
- 1.3 RRS の付則 T を適用する。
- 1.4 レース公示と帆走指示書に矛盾が生じた場合は、帆走指示書を優先する。

### 2、運営者の責任範囲

- 2.1 RRS4 「レースをすることの決定」に基づき、全ての艇、参加者は自分自身の責任でレースに参加する。共同主催者団体及び万灯祭播磨灘ヨットレース 2023 大会実行委員会等は本レガッタの前後、期間中に生じた物的損害又は身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。
- 2.2 この帆走指示書の規定は、競技者自らのセーリングするヨットの取り扱いに関し、唯一かつ完全な責任を有する競技者個人の善明かつ無限の責任を一切制限したり、減じたりするものではない。

### 3、競技者への通告

競技者への通告は、大会 HP 又はレース本部内に設置された公式掲示板に掲示する。

### 4、帆走指示書の変更

SI の変更は、2023 年 9 月 15 日までは大会 HP に、また 9 月 16 日以降はレース本部の公式掲示板へ掲示される。

### 5、陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は、出艇申告受付開始前から抗議受付締切時刻までの間、レース本部のポールに掲揚される。

### 6、日程・出艇申告

- 6.1 9 月 16 日 (土) 15:00 から出艇受付・出艇申告  
16:30 から艇長会議 (堀川運河泊地のレース本部にて行う)  
9 月 17 日 (日) 7:30 から出艇申告 (乗員変更のみ)  
9:25 予告信号

\*レースタイムリミットはSI20のとおりとする。

\*表彰式は9月17日、表彰式の場所は本部周辺。

## 7、クラス

7.1 参加申込の状況により、A、Bの2クラス分ける。クラス識別旗はAクラスは黄色三角旗をスターンに掲揚する。このクラス分けは各クラスの参加艇数のバランスが極力取れるように調整する。

7.2 クラス旗は、各クラス共通でJSAF旗を用いる。

7.3 JSAFの規定するセイルナンバーを持たない出走艇は本レース委員会から貸与された番号ゼッケンをバウ両舷の見え易い位置に取り付けること。(ライフラインなど外部より見える位置に取り付けること)

## 8、レースエリア

播磨灘高砂港沖の海域とする。

なお上島周辺は漁具が大変多いので参加艇は十分注意を払うこと。

## 9、コース

播磨灘上島を半時計周回する。AクラスとBクラス共に同じコースとなる。別紙1参照  
特別注意として、この上島周辺は漁具が多数設置されているので艇長並びに乗船者は海面監視を十分に行うこと。また岩礁があるので予め海図上でその位置を自身で確認しておくこと。添付1のコース表にある岩礁の緯度経度は岩礁の中心のものでありあくまで参考値ゆえにその数値も自身で確認すること。レースでは岩礁等に決して近づくことなく大回りで回航すること。

## 10、マーク

スタートとフィニッシュマークは橙色円筒型を使用する。

## 11、コミッティーポート

11.1 本部・警戒艇「ヨット 風の旅人(船体印字)」。

11.2 警戒艇「Appie」。

## 12、スタート

12.1 レースは、RRS26に従ってスタートする。尚、予告信号は9:25を予定する。

12.2 スタートラインは、右舷の端にあるレース委員会の信号艇のオレンジ旗を掲げたマストと、左舷の端にある#3マークブイのコース側との間とする。(予め設定されたトライアングルコースを採用するので、フリーでのスタートの場合がある)

12.3 スタート信号後の10分以降にスタートする艇は、「スタートしなかった」と記録される。これはRRS A4を変更している。

このレースにおいては次の信号を用いてスタートする、計時は視覚信号から行い、音響信号の不発は無視すること。

信号	視覚信号	音響信号	スタートまでの時間
予告	クラス旗掲揚（JSAF 旗）	単音 1 声	5分
準備	P 旗掲揚	単音 1 声	4分
1 分	P 旗降下	長音 1 声	1分
スタート	クラス旗降下（JSAF 旗）	単音 1 声	0分

### 13、[NP] 個別リコール

個別のリコールを発する場合には、本部艇は RRS29.1（個別リコール）に基づく旗・音響信号（X 旗を掲揚・音響信号一声）に VHF 72 ch で、その艇のセール番号、艇名を送信するように努めるものとする。但し、送信できなかつたり、送信の時期が適切でなかつたり、または聴取できなかつたとしても、救済要求の根拠にはならないものとする。これは RRS62.1 を変更している。

### 14、ゼネラルリコール

ゼネラルリコールは、RRS29.2 により信号を発する。（第一代表旗を掲揚・音響信号二声）

### 15、コースの短縮

レース委員会は、コースの短縮を行うことがある。（運営艇に S 旗を掲揚・音響信号二声）

### 16、コースの変更

原則として、コースの変更は行わない。（コース案は別紙 1 参照）

### 17、レースの延期

レースを延期する場合は、本部船に回答旗を展開し音響信号 2 声を発する。新たなスタート予告信号は、回答旗降下 1 分後に発する。

### 18、一時的なエンジンの使用

18.1 艇は、そのレースで著しく有利とならない範囲で、次の場合にエンジンまたは他の方法で推進することができる。

18.1.1 コース上の障害（灯標、灯浮標等）または船舶、艇との衝突を緊急に防止する場合。

18.1.2 無風、または強潮を含む極端な天候から避難する場合。

18.2 艇がエンジン又は他の方法を使用した場合、使用開始時刻及び停止時刻（又は稼働時間）、及び使用状況（使用を開始した時点での概位、航走方位、マイル数等）を記録した申告書を、抗議締切時刻までにレース本部に提出しなければならない。

18.3 申告に基づき、適当と判断される値のペナルティーを科すことがある。

### 19、フィニッシュ

フィニッシュラインは、右舷の端にあるレース委員会の信号艇の青旗を掲げたマストと、左舷の端にある #3 マークブイのコース側との間とする。

### 20、タイムリミット

レースタイムリミットは、次のとおりとする。

スタート信号後 200 分までにフィニッシュしない艇はフィニッシュしなかった(DNF)と記録される。これは RRS 35、A4、A5 を変更している。

## 21、帰着申告、リタイア

- 21.1 帰着申告は、レースのフィニッシュをもって申告とする。
- 21.2 レース委員会がゼッケン等を貸与している場合には、これをレース本部に返却する事。
- 21.3 レースからリタイアした艇は、速やかにレース委員会に報告しなければならない。

## 22、抗議

- 22.1 抗議書は、レース本部で入手できる。抗議、救済要求および審問の再開の要求は、その日のレースの終了後（30 分以内）にレース本部に提出されなければならない。
- 22.2 抗議締切時刻は、公式掲示板等に掲示される。
- 22.3 抗議の通告は、審問の場所及び時間、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議受付締切時刻後（30 分以内）に掲示される。
- 22.4 レース委員会、プロテスト委員会による抗議は、RRS61.1 [b] に基づき公式掲示板に掲示する。
- 22.5 抗議は、出来るだけ早く、ほぼ受付順に審問される。
- 22.6 「出艇申告」、「安全規定」、「無線の使用」の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は RRS60.1 (a) を変更している。これらの違反に対するペナルティーは、失格より軽減することができる。

## 23、安全規定

- 23.1 個人用浮力用具は公示に基づき対処すること。なお、浮力用具は全ての着衣の上に装着すること。
- 23.2 各艇の乗員は離岸から着岸までの間、公示に基づいた浮力用具を着用しなければならない。
- 23.3 出走艇は携帯電話または国際VHF無線にて確実に大会本部と連絡が取れる手段をもつこと。

## 24、保 険

- 24.1 レースへ参加する艇は、船舶に関する有効な賠償責任保険、搭乗者傷害保険、遭難捜索費用保険に加入していること。

## 25、環 境

- 25.1 海に物を捨てない。  
国連推進 SDGs#14「海の豊かさを守ろう」、環境省推進「Plastics smart」の積極的推進。セーラーは永遠に海を愛す人。

## 26、賞

- 26.1 総合優勝ヨットクラブ (MH' s CUP) \*2022 年レガッタは A クラスゆえ今回は B クラスとする。
- 26.2 各クラスの 1 位~3 位 (高砂市賞、高砂商工会議所会頭賞、高砂市観光交流ビューロー

理事長賞)

26.3 スポンサー賞（キックマン賞、HARKEN JAPAN 賞、サントリー賞、カネカ賞）

26.4 各クラスの4位以下、表彰式に参加された艇はMHレガッタ特別賞。

## 27、肖像権及び広告表示

27.1 本レース期間中に撮影された参加艇及び参加選手の肖像権は共同主催団体が保有し、主催団体のHPや広報紙・誌等に掲載される。またスポンサーの広告等に使用されることがある。

## 28、その他

28.1 レースの公平、公正を遵守するため、特定の艇が知り得た情報によってレース結果が左右されないよう、レース委員会は海上での質問（コースやフィニッシュ方法など）に対して受け応えはしない。

28.2 クラス識別旗及びゼッケンを出走受付時に袋に入れて貸与するので、帰着申告時に同じ袋に入れて、指定の箱の中へ返納すること。

28.3 QRコード申込ご協力に感謝いたします。個々の入力から保険付保情報など正確な情報を得ることが出来ました。また、入力情報はレース関わる全ての書類作成に利用が出来、省力化が図れました。なお、複数入力の艇情報はレース終了後に一つに整理いたしますので、後日、自艇の情報内容を確認してください。艇を入れ替え、改造等を行わない限り、次回からは保険付保情報のみの入力となります。ID、パスワード利用で修正等可能です。

## レース本部・緊急連絡先

この大会のレース本部等は、高砂市今津町南堀川運河船溜りに置く。

緊急連絡先は当時配布の帆走指示書に記述する。

以上

